



こまき視覚障がい者通信

ぶらこまき



2022年3月号

こまき視覚障がい者の会では、視覚障がい者と市民の皆様に向けて、仲間の紹介やお役立ち情報を発行しています。

## 2021年度の活動を振り返って ～ 手を取りあって歩む道 ～

2021年度の活動を振り返って、真っ先に目に浮かぶものは「どんな活動をしたか？」ではなく、差し出されてきた「たくさんの手」でした。皆がそうであるように、視覚障がい者も「机上の議論」をさせたならば白熱し、はたまた激戦地区にもなりかねません。実際に、多くの熱い議論を重ねてきました。しかし、問題はそれを「どう実現するか？」というところで、二の足を踏まざるを得ない事情があります。そうになると、だんだんと賢くなって(?)意見すら出てこなくなるものですが、それでは衰退を辿ることになるでしょう。



この一年も「どう実現するか？」を模索し続けた一年だったと言っても過言ではありません。そんな時、いつも差し出されてきた「たくさんの手」。その優しくあたたかなぬくもりに支えられて、iPhone 講座を、また今年度から iPhone 講座を進めていくために人材を育てたいとサポーター養成講座を行いました。そしておしゃべりサロン企画で、お散歩サロン、女子会、茶道「きさこ」、クリスマス スペシャル イベントを、緊急事態やまん防の合間を縫って開催できたことは、本当にラッキーだったとしか言いようがありません。

各イベントとも、ほぼ当事者よりも健常者のボランティアの方が多くという、とても恵まれた環境の中で行うことができました。その中で、皆さんが一緒に「楽しかった～」とリピーターになってくださったことは、私たちの会にとってとても大きな力です。私たちも改めて「楽しくやる」ことの大切さを学びました。

そしてなんとといっても、今年度の市民活動助成金をいただいて進めてきたのは「歩行訓練」事業です。「白杖歩行の訓練」の必要性は、なかなか伝わりにくいものがあります。大丈夫と思い込んでいる当事者に、また市民の皆様にもどのように「こえかけ」や「サポート」をしたらよいかを伝えたい！でも、これまでのやり方では「つまらない」。そう！私たちの会の持ち味「楽しい」を生かしたイベントをやろう。ということで、しきの会と手を取り合って「ハロー福祉」、「パラリンEXPO」を行いました。

また3月13日開催の「知ったクセミナー」では、6人のメンバー参加の講座をさせていただきました。ドキドキ、ハラハラしながらも自分たちも楽しめた、そんな講座でした。

このような機会を差し出してくれた「手」、それを掴んだ私たちにつながってくれた「手」、その「手」がさらに外に向かって伸ばされ続けているのを感じて、言葉に表しきれないほどの感動と感謝を感じています。（代表 水谷）



「歩行訓練未来塾」と題し、これからの視覚障がい者について語り合っていました。動画制作の一部をチラッとご紹介。

2月6日(土)あいにくの雪交じりの寒い中、名古屋市某所。最近、視覚障害者はスマホを支援機器として活用している人が多くなってきました。アプリがあれば単独歩行は可能なのか？

### —歩行補助アプリについて—



坂部司(さかべつかさ)  
歩行訓練士。愛知視覚障害者援護促進協議会(現在 NPO 法人) 副理事長。同行援護従業者養成研修、県内自治体の歩行訓練事業等を担当。

**永徳** 「まず『信 GO!』です。歩行者支援システム(高度化 PICS)のついた信号機に近づくと、信号機の今の状態(赤、青、点滅など)をお知らせします。また青信号の延長要請もできます」

**坂部** 「これ、信号機までの案内はないですよね？」

**永徳** 「ないです」

**坂部** 「すると、信号機までたどり着く技術と横断歩道を渡り切る直進歩行能力が必要ですね」

**永徳** 「そうですね。次は Walk & Mobile です。行先の情報を埋め込んだコード化点字ブロックにスマホをかざすと」

**坂部** 「知ってます。点字ブロックの情報を読み取り、右がトイレです、左が出入り口ですなどと教えてくれます。これ、駅構内や大型施設内にあると判断材料が増えて良さそうですね」

**永徳** 「最後は Navilens です。場所の情報を入れた QR コードみたいなカラフルな四角にスマホをかざすだけ。1.5m先、会議室。などと教えてくれます」

**坂部** 「面白いですね。ただ、どれも行政が積極的に公共施設などに導入してくれないと広まらないと思うんですね」

**永徳** 「確かにそうですね」

…まだまだ話は続きます。

**坂部** 「歩行訓練士は、単に白杖を使った歩行だけでなく、調理や裁縫、日常生活を総合的に指導するんです。それを補助する機器がたくさんできて。私たち専門家がそういう開発者たちとタッグを組んでいかなきゃいけないなと感じました。そして一般の方にも積極的に視覚障害者の方に声掛けしてもらって、当然視覚障害者の方も積極的に声をだして、相互理解を深めて助け合えるような関係性を築いて行かなきゃいけない。そうすると新しい機器の情報や使い方が広まっていくと思うんです。私もあと何年かな？(笑)75歳までは頑張ろうと思ってるのでよろしくお願いします」

**永徳** 「新しい機器や環境の進化に戸惑う方もいるかと思いますが。でも聞いているだけでなんとなくイメージできるようになるものです。私の iPhone 講座では、訓練だけじゃなく、視覚障害者が集まって心のケアをし合える仲間づくりをするベースにしたいと考えています。困った時に助け合えるネットワーク造りを目指していきたいと思います」

※対談の様子は YouTube でご覧いただけます。



永徳一輝(えいとくかずてる)  
中途視覚障害者で全盲。株式会社 DIPPS に勤務の傍ら、小牧市、名古屋市、岡崎市、豊田市、豊橋市などで視覚障害者の読み上げ機能を使うスマホやパソコン操作を指導。視覚障害者の自立に向けた相談、各支援団体の紹介も行っている。

## 白くて細くて長い棒ってなあんだ？

皆さんは白い棒を前方に突き出して歩いている人を見かけることはありませんか？この白い棒。体を支えるには細すぎて頼りないし、なにより長い。さらに暗いところで光を浴びると発光する。この棒は一体なんなの？答えは白杖(はくじょう)。見えない・見えにくい私たち視覚障害者が、道路を歩く時に持つことを義務付けられているものです。

視覚障害者は白杖を前方に突き出し、左右を探ることで、事前に段差や歩道の切れ目などの道路情報を収集します。さらに障害物など危険がないかを確認して避けることができます。白杖はストレート型の他に携帯に便利な折り畳み式、スライド式などがあります。色も白一色だけでなく、黄色、白と赤のツートンカラーなどがあります。視覚障害者にとって白杖は、歩く上での心強い相棒なのです。それに白杖は、周囲に視覚障害者であることを知らせて、ドライバーや周囲の歩行者に衝突などの危険が起こらないように、注意喚起する役目もあります。見えている皆さんも、私たち視覚障害者も、双方が互いを認識して注意することで、安心安全な歩行を心がけることができるのです。(山内)



### このまちの仲間



似顔絵も  
マスク姿(笑)



今回は、こまき視覚障がい者の会の会員である山下の紹介をしたいと思います。私の眼は、徐々に視野狭窄と視力が無くなっていく疾患の弱視です。今は人のシルエットはわかるのですが、顔がぼんやりしていて誰だか判別することが難しいです。視野も狭いため、すれ違っても知らんぷりをしてしまうこともしばしば。いや、いつもですね。(声をかけてください！)

趣味は読書とパン・お菓子作りです。パン作りのきっかけは十数年前、パンを作ってみたくて、ひとり教室へ。当時は視力もあり見えていましたが、コントラストにも弱い私は、白いものばかりの材料や調理器具に戸惑ってしまい出来るかなあ…。でも何もかも忘れて、作っているときのパン生地に集中している時間がとても好きでしたね。

始めた頃は自宅でもパンを焼いていましたが、最近では計量の準備やレシピを見ることが出来なくて、めっきりオーブンを使うことが無くなりました。先生方にも眼のことをお伝えしてあり、今ではスツとゴムベラやホイッパーを手元に出してくれます(笑)。クリームを絞るときは絞りの出し具合は私が、先生が私の手をとってクルクル動かして共同作業で飾ります。先生方や教室で一緒になった人たちのサポートのおかげで今も楽しくパン作りを続けられています。

小牧市在住。両親のプレ介護中。



## 活動報告

★詳しい内容は facebook でご覧いただけます。

### ●令和3年度福祉実践教室報告



今年度は、春日井市の小学校3校・犬山市の高校1校・市民講座こまなび全4回と、小学生から大人まで幅広い年代の人と授業や講座を通じて出会いました。ピアノの演奏や私自身の体験談・点字の体験を通し、とても充実した時間を過ごしました。高校生への授業と大人向けの市民講座は今年度が初めての取り組みでした。生徒や参加者の多くから視覚障がい当事者の生の声を聴けて貴重な時間でしたとの感想をいただきました。高校生と一緒に準備や打ち合わせをしたこと・大人の皆さんが点字でさまざまな質問を書いてきてくれたこと等、私自身も大変勉強になりました。来年度もさらなる充実した福祉実践教室ができればと思っています。(小島)

### ●しきの会と合同開催「Christmas special event」 12/12(土) こまき市民交流テラス

18名のボランティアさんの協力を得て、ものタグを使ったワークショップやドリンクバースペースを設置。午後からは昨年のホソメントリオの演奏に声のボランティアかっこうさん、キキさんのオカリナ演奏が加わりました。途中、視覚障がいあるあるコント?もあり、皆さんに楽しんでもらえました。



また、ご来場下さった皆様にご寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。ご寄付はこのぶらこまき制作に活用しています。(山下)

### ●点字サークル ブライユ 1/8(土)こまき市民交流テラス 多目的室

今回の課題は「ねこはるすばん」町田尚子著。皆でねこの知らない日常を楽しく読み合わせしました。点字の講師役の小島さんが「〇〇さん、読むの早くなったよね」と。早速、ブライユ効果が現れてきたようです。点訳グループたんぽぽさん、いつもありがとうございます! ※2月3月はまん延防止のため中止となりました。(山下)

## 応援募金のお礼とお願い

2021年度は26,690円のご支援があり、ご協力いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。次年度もこの「ぶらこまき」の発行やサロンの活動のため、応援募金を随時募っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 《協賛者様募集》

こまき視覚障がい者の会では、通信「ぶらこまき」の発行にあたり、協賛していただける個人・団体・企業様を募集しております。協賛いただいた方には「ぶらこまき」を毎号お送りするほか、「ぶらこまき」やfacebookにお名前を掲載させていただきます。ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

■ 個人協賛金:1口 3,000円(年間) ■ 団体・企業協賛金:1口 5,000円(年間)

※協賛に関するお問い合わせは、下記【連絡先】までご連絡ください。

【発行】こまき視覚障がい者の会

【連絡先】090-3933-3557(水谷)

way.hazime@gmail.com

★facebook→

こまき視覚障がい者の会

